

第 32 回電気通信普及財団賞

テレコムシステム技術部門 総評

第 32 回テレコムシステム技術賞、同学生賞に多くの応募をいただき有難うございました。大変喜ばしいことですが、テレコムを取り巻く研究活動が活発であることを実感させていただきました。

技術賞に対する応募に関しては、ネットワーク系とメディア系を中心とした情報通信分野の学術論文が多数を占めました。特に、今回は、光・無線を利用した具体的なシステムの提案に関する優れた応募が目立ちました。学生賞に対する応募に関しては、移動通信におけるプロトコル関連の論文が多く、チップ・メモリ関連の優れた論文の他、学習をベースにしたヒューマンインタフェース関連の論文などの応募がありました。授賞作品に関しては、個別に概要と評価が記載されておりますので、ご一読いただければ幸いです。

本論文賞では受賞作品の選定にあたり、二段階の審査を行っています。今後の応募に際して参考にしていただく情報として、それぞれの段階における論文の発行種別と大まかな研究分野について紹介させていただきます。

テレコムシステム技術賞に関しては、第一段階で合計 47 件の作品を審査し、その結果を参考に 21 件が第二段階に進み、最終的に入賞 3 件、奨励賞 4 件を決定いたしました。発行種別及び大まかな研究分野への応募件数、本審査への件数、授賞件数は以下のとおりです。

◆発行種別

発行種別	応募数	本審査	授賞数
米国電気電子学会の IEEE 関連の論文誌	21 件	13 件	入賞 2 件 奨励賞 3 件
電子情報通信学会などの国内学会の論文誌	12 件	4 件	奨励賞 1 件
国際会議における発表	5 件	2 件	入賞 1 件
ELSEVIER などの海外誌	9 件	2 件	—

◆研究分野

研究分野	応募数	本審査	授賞数
無線通信／移動通信／センサーネットワーク、光・無線利用システム	15 件	7 件	入賞 2 件 奨励賞 2 件
情報／フォトニックネットワーク、情報セキュリティ、情報通信サービス、クラウドコンピューティング	11 件	5 件	入賞 1 件 奨励賞 1 件

音声・音響・映像・画像関連メディア技術	14 件	8 件	奨励賞 1 件
信号処理、材料、脳関連	7 件	1 件	—

次に、テレコムシステム技術学生賞に関しても、第一段階で合計 11 件の論文を審査し、その結果を参考に 8 件が第二段階に進み、最終的に入賞 3 件、佳作 3 件を決定しました。応募数の半数強が授賞するという結果となりました。

学生賞は、論文に記載された研究内容を積極的に推進した若手研究者に授与される賞です。したがって、論文の内容に大きな重みがありますが、それにも増して、応募者の論文に対する貢献度が大きく評価されます。

発行種別及び大まかな研究分野への応募件数、本審査への件数、授賞件数は以下のとおりです。

◆発行種別

発行種別	応募数	本審査	授賞数
電子情報通信学会などの国内学会の論文誌	5 件	4 件	入賞 2 件 佳作 1 件
IEEE の論文誌、Access	3 件	3 件	入賞 1 件 佳作 2 件
国際会議における発表	2 件	1 件	—
海外誌	1 件	—	—

◆研究分野

研究分野	応募数	本審査	授賞数
情報ネットワーク、情報通信サービス、信号処理、メモリ	3 件	3 件	入賞 2 件 佳作 1 件
移動通信、通信プロトコル	4 件	3 件	入賞 1 件 佳作 1 件
ヒューマンインタフェース、メディア技術	4 件	2 件	佳作 1 件

最後に、学生賞の活性化に向けて第 33 回より、博士後期課程在学中の研究成果も授賞対象とすることにいたしました。博士号取得に際しての必須条件と考えられる学術論文も応募対象とするによって、より多くの若手研究者にテレコムシステム技術学生賞を授与したいと考えております。